

### 輸送 大胆な輸送力増強に踏み出す

原題: Bold steps increase capacity  
誌名: MRI: Metro Report International Vol.30 No.3 (2016-9) pp.22-24

ロンドン東方の約60kmの路線を運用しているNational Express Groupは、乗客の予想外の増加に対応するため、6編成の電車を増備するなど、大胆な容量増加に踏み出しました。乗客増加は同社が開発している住宅地開発の結果で、2013/2014年は6810万人の利用客でしたが、2014/2015年は7330万人と、1年で7.5%の増加となり、その勢いが弱まる気配はありません。列車ダイヤの見直し、8両編成から12両編成への長編成化、車両内の座席配置の工夫などで対応しようとしています。



出典: Metro Report International

座席配置を変えて容量増加を図った電車



出典: Metro Report International

乗客が増加しているフェンチャーチ通りのロンドンターミナル

### 輸送安全 マルセイユの地下鉄はドライバーレス運転をめざす

原題: Metro to go driverless  
誌名: MRI: Metro Report International Vol.30 No.3 (2016-9) pp.29-29

マルセイユのゴムタイヤ地下鉄は、1号線の部分開業からまもなく50年を迎え、車両の老朽化が進んでいます。2号線ともども新車への置き換えが計画されていますが、その際にドライバーレス運転とする方向です。計画では2023年4月から2号線でドライバーレス化、1号線は1年遅れて実施の予定です。経費は5億ユーロを見込んでいます。現有車両は2つの路線を合わせて6両編成38本ありますが、路線延伸計画があり、実現するとさらに22本の車両が必要になると見込まれています。



出典: Metro Report International

マルセイユ地下鉄の老朽化対策

### 構造物 エルフルトーハレ/ライプツィヒ高速新線における長い擁壁

原題: Die längste Stützwand an der NBS Erfurt - Halle/Leipzig  
誌名: EI: Eisenbahningenieur Vol.67 No.9 (2016-9) pp.92-101

エルフルトーハレ/ライプツィヒNBS(高速新線)の建設において、格子状擁壁(切り込み築堤の保護のための比較的平らな傾斜がある格子壁)が高さ約9m、長さ合計2.6km以上にわたって設置されました。これまで実用の事例がありませんでしたが、監視プログラムの実施および管理によってチェックされることにより施工されました。結果的には、平らな傾斜したスペース格子擁壁が有効であり、かつ経済的に適切であると判明しました。



出典: Eisenbahningenieur

設置された高さ9m、長さ2.6kmの格子状擁壁

### 輸送 シンプル、デジタルそして顧客志向

原題: Simple, digital and customer-focused  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.172 No.9 (2016-9) pp.53-57

ドイツ連邦のBMVI(交通・建設・都市開発省)によるWP2030(2030連邦輸送インフラ整備計画)が2016年8月に連邦議会で承認されました。ここでは、同計画の鉄道関連投資について、技術・投資効果の面から一部を評価しつつも批判的に紹介しています。今後の鉄道ネットワーク投資の方向性として、線路利用者が使いやすいシンプルなシステム、デジタル化、状態基準保守への移行などに重点化した投資の効率化が重要であるとしています。



出典: Railway Gazette International

新世代の架線検査車両



WRT(海外鉄道技術情報)は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP(www.rtri.or.jp)をご覧ください。  
⇒問合先(研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp